



好対照の洋館(左)和館(右)が立つ金家住宅
国指定重要文化財に向け答申

文化庁の文化審議会(石澤良昭会長)は、10月17日に本市本城の金家住宅(旧本城公民館含む)を国の重要文化財に指定することを塩谷立文部科学大臣に答申しました。

今回、秋田県で国重要文化財指定(建造物)の答申を受けたのは、金家住宅と小玉家住宅(潟上市)の2件で全国では8件。県内の2件は、平成14・15年度に県教育委員会が実施した「県近代和風建築総合調査」でその価値が認められたもので、近代和風建築では本県では初の指定となります。金家住宅は、歴史的価値の高い建築物」が答申理由となりました。

金家は阿仁地方の三大旦那と呼ばれた大地主で土地経営を行うかたわら、農村の青年教育に尽力するなど地域の発展に大きく貢献しました。

金家住宅は、旧森吉町本城の阿仁川西岸に位置し、約3966平方メートルの敷地に東面して洋館、和館、文庫蔵、米蔵が建てられています。洋館、和館は昭和3年建設(また、正面には幕末ころの作庭といわれる庭園があり、四季折々の木々が建物とよく調和しています。

また、好対照をなす和洋両館が極めて良好に保存されており、東北地方では数少ない大型の和洋並立住宅として貴重であり、また地方における近代住宅の展開を示す作品のひとつとしても歴史的価値が高く、近代地主の屋敷構えを伝える文庫蔵、米蔵、表門及び宅地と併せて保存を図ることとしています。

年内には答申と官報告示され、正式に国重要文化財の指定がされる予定です。

金家住宅は、私有地にあり、現在も一部居住している住宅であることから一般公開はしておりません。今後、定期的な公開を検討しています。

国重要文化財指定に向けて答申される

国登録有形文化財の金家住宅(洋館・和館・文庫蔵・米蔵)

日本とフィンランドの友好を再確認

秋田フィンランド協会創立30周年記念事業



フィンランド大使館のセッポ・キマネン参事
官らと記念植樹

秋田フィンランド協会(会長・岸部市長)が創立30周年を迎え、10月11日、全国のフィンランド友好団体の参加のもと記念講演会や記念植樹を実施し、日本とフィンランドのさらなる友好を誓い合いました。

同協会は、フィンランドと秋田が気象条件をはじめ、雪の中の生活」森林資源を活用した生活」などの文化的条件が似ていることや、森林の中に池沼が点在する大野台の自然景観が北欧を思わせることから、両国の友好親善、産業・経済、文化面での交流を図ろうと昭和53年に設立されました。

はじめに、岸部会長が、全国のフィンランド協会の集大成でもある協議会がこの地で開催されることは、当協会にとっても誠に意義深い。活動状況など情報交換しながら交流を深めてほしい。各協会の発展、そして日本とフィンランドの友好に寄与できれば幸いなどと歓迎のあいさつ。

また、フィンランド大使館のセッポ・キマネン参事官が秋田フィンランド協会の創立30周年を祝福、来年はフィンランドと日本の外交関係が始まってから90周年の年。この間、文化協定が結ばれるなど、文化・経済面で交流が促進された。各協会の益々の発展とフィンランド・日本の友好が進むことを願います」などと祝辞を述べました。

その後の記念講演では、講師の早川治子さん(日本フィンランド協会専務理事)が、フィンランドってどんな国」と題し、フィンランドの歴史や魅力、日本人との価値観の違いなどを紹介しました。

講演終了後、参加者全員が北欧の杜公園内の植樹エリアに移動し、セイヨウトチノキとヤマナラシを植樹し、30周年の記念としました。

為三を生んだこの土地を誇りに

浜辺の歌音楽館開館20周年記念講演会



「日本のうた」の歴史の中での為三の果たした役割などを語った佐野教授による講演会

北秋田市が主催する、浜辺の歌音楽館」の開館20周年記念講演会が10月18日、森吉コミュニティセンターで開かれ、参加した市民らが、日本の音楽史に輝く為三の功績について理解を深めました。

音楽館は、旧森吉町が郷土の生んだ偉人・成田為三の顕彰と音楽のまちづくりを目指して建設した施設で昭和63年8月に完成しました。

講師は、東京藝術大学音楽学部教授の佐野靖さん。音楽科の教師教育、カリキュラム・授業研究を中心に研究を展開されているほか、人材育成や普及活動に取り組まれています。

佐野教授は成田為三の果たした歴史的役割、日本のうたの発展にかかわって」と題して講演。為三といえば、浜辺の歌」の印象が強いが、明治以降の日本のうたの歴史の中で大きな役割を果たしたのが、かなりや。当時、児童文芸誌の「赤い鳥」に始まる文芸運動で多くの名作を送り出されたが、曲付きの童謡として最初に発表されたのがこの曲だった。

西条八十作の詞も幻想的だが、非和声音が多用される伴奏譜など随所に様々な工夫が凝らされている。為三の意気込みが伝わってくる名曲」と、実際に演奏しながら解説しました。

最後に、「特に若い人たちに知ってほしい」と前置きし、「学生の頃、ふるさと」はつまらない曲だと思っていたが、今はまったく感じ方が違う。歌は同じ曲でも聴いたり歌ったりする状況でその態度表情が異なる。感じ方は一人ひとり自由。自分の心の内側からわき出てくる素直なイメージを大事にしてほしい。その上で、地域の先人である為三の曲を歌い継ぎ、この土地に生まれたことを誇りにしてほしい」と、聴講した市民らに語りかけていました。

市長日誌

10月1日～15日

- 5(日) 第3回北秋田市スポーツレクリエーション大会総合開会式
に出展(北秋の杜公園風の音楽堂)
- 6(日) 木質バイオエタノール実証プラント事業の実施主体である
独立行政法人森林総合研究所理事長と懇談(茨城県)
- 7(日) 市の誘致企業フリーデン本社を訪問(神奈川県)
- 8(日) 秋田県赤十字大会歓迎ご昼食会及び式典に出展(秋田市)
- 9(日) 振り込め詐欺防止にかかる協議に出展(北秋田警察署)
- 10(日) 北秋田市植樹祭に出展(児童公園) J A葬祭センター「虹
のホール」たかのす」竣工式・祝賀会に出展(旧栄農協跡地)
- 11(日) 全国フィンランド友好団体協議会に出展(北秋の杜公園パー
クセンター) 秋田フィンランド協会創立30周年記念講演会に出
展(北秋の杜公園お野立所前)
- 12(日) 第1回東北チエンソーアート競技大会開会式に出展(北秋
の杜公園) ポスト植樹祭「水と緑の森林祭」に出展(北秋の杜公
園お野立所) フィンランド大使館参事と懇談(大太鼓の館) ド
ラムサークルジャンポリーに参加(ロッジ森吉、妖精の森)
- 13(日) ドラムサークルジャンポリーに
参加(クウインス森吉、秋田内陸縦貫鉄
道、大太鼓の館)
- 14(日) 第31回全国土地改良大会に出展(県
立武道館)
- 15(日) 日沿道同盟会合同要望(国道交通
省東北地方整備局能代河川国道事務所)
森吉山を活用した地域づくり講演会
に出展(四季美術館)



北秋田市植樹祭で(10/10)